

特許出願公告及特許拔萃

特許公告拔萃

鑄型外型製造機 (12年特許公告第3017號公告12-8-2東京市財團法人理化學研究所) 極めて簡易なる操作によりて鑄型の外型を迅速に製造せんとする目的を以て扇形の平面形を有する枠臺内に之と同一水平面にして枠臺内に僅かに搖動し得べく床盤を嵌設し該床盤の中央部には所要鑄型の外型に相當すべき柱體の半型を兩側に突設せる芯型を着脱自在に設け枠臺の扇形中心側に突設せる縦軸には外型の半型形成用鑄型枠を該軸を中心として床盤上を摺動する様嵌設して成る鑄型の外型製造機

熔融鉛鍍金法 (12年特許公告第3026號公告12-8-2東京市清水音司) 低廉なる資料の撰用により熔融鉛鍍金法の經濟的方法を得んとする目的を以て濃鹽酸に酸化第二鐵又は二酸化マンガンを亞鉛とを作用せしめて熔解せる溶液中に鐵眞鍮を浸漬する事を特徴とする熔融鉛鍍金法

マグネシウム又はマグネシウムを主要成分とする輕合金の防蝕方法 (12年特許公告第3027號公告12-8-2關東州南滿洲鐵道株式會社) Mg 又は之を主要成分とせる輕合金の如き腐蝕せられ易き金屬の表面を有効に保護し耐久性を保持せしめんとする目的を以て苛性アルカリ又は炭酸アルカリと亞硫酸アルカリ及磷酸アルカリの混合水溶液中に Mg 又は之を主要成分とする輕合金を浸漬し其表面に As 及 Mg の硫酸鹽と磷酸マグネシウムとの混合皮膜を形成せしむる事を特徴とする Mg 及 Mg を主要成分とする輕合金の防蝕方法

冷剛輦子鑄造方法 (12年特許公告第3055號公告12-8-6東京市大谷米太郎) 急冷により金型内に圓筒状に生成せらるる胴部外殼と其の内部に鑄込まれる鑄鋼とを一體に融着せしめ以て周胴部作用面の耐摩耗度高く其の内質及頸部乃至クラッチ部の粘靱性に富める冷剛輦子を簡單且安價に鑄造せんとする目的を以て冷剛輦子の胴部鑄造用金型と頸部乃至クラッチ部鑄造用砂型とを組合せたる外型内に先づ熔融鑄鐵を注入し所望時間を経過したる時其の未だ熔融状態にある部分を排除すると同時に該空間洞内に直ちに熔融鋼を注入することを特徴とする冷剛輦子鑄造方法

白熱電球 (12年特許公告第3080號公告12-8-6川崎市東京電氣株式會社) 能率を良好ならしめ而も壽命を大ならしめんとする目的を以て Ta Hf Zr 及 Nb の一種若しくは二種以上の炭化物を保有する白熱纖維と單體炭素源と作動時に於て該炭素源より該纖維に炭素を移送する瓦斯狀物質とを具備して成る白熱電球。

金屬マグネシウムの電解槽 (12年特許公告第3094號公告12-8-9仙臺市金屬材料研究所長) 未反應物質等の陰極能率に對する惡影響を避けつつ噴出瓦斯による熔浴の渦狀運動により鹽化作用を促進せしめ以て連續的に酸化マグネシウム又は之と同様に鹽化作用を受くべきマグネシウム鹽類により金屬マグネシウムを得んとする目的を以て鹽化マグネシウムにアルカリ及アルカリ土類金屬鹽化物を加へたる電解融浴に粉狀のマグネシウム化合物と還元性瓦斯又は之と含鹽素瓦斯とを夫々單獨に又は混合状態に於て噴出せしめつつ電解を行ふ圓筒又は多角筒電解槽に於て浴底を除く槽の内周壁に陽極を設け槽の中心に陰極を設け此等の間に隔壁を設置し該陽極下部の適所に熔融浴に渦狀運動を與へるが如き方向に開口す噴出孔を有せしめ且槽の下部又は底部に中央又は周圍に穴を穿ちたる隔板

を介して泥狀物溜室を備ふることを特徴とする金屬マグネシウムの電解槽

鐵又は非鹽狀性質を有する類似の不溶性の細分せられたる不純物の懸濁片を除去しつつ高含有率のマグネシウム合金を製造する方法 (12年特許公告第3134號公告12-8-11獨逸國イー・ゲー・フアルベンインヅストリー・アクチエンゲゼルシャフト) 高含有率のマグネシウム合金を得んとする目的を以て先づ製造せらるべき合金を精製するに充分なる量のマンガンを純粹なる熔融マグネシウム中に於て加熱に依り溶解せしめ次に同一温度に於て本來の合金金屬を該熔融體に添加して後この熔融體を鑄造温度に迄冷却する事によりて析出せられたる不純物より分離する事を特徴とする鐵及非鹽狀性質を有する類似の不溶性の細分せられたる不純物の懸濁片を除去しつつ高含有率のマグネシウム合金を製造する方法

厚薄混成鐵器を珪瑯燒成する方法 (12年特許公告第3136號公告12-8-11大阪市大島峰次郎) 用途的に又は經濟的に作らるべき厚薄混成鐵器に對し完全なる珪瑯燒成を施す目的を以て厚薄二種以上の鐵飯又は銑鐵或は其他の金屬飯より混成さるべき器物に於て其厚飯部のみを珪瑯既成せしめ次に釉藥を塗抹したる薄飯部分に之を嵌合して爐室内に灼熱達成し其の灼熱に依る器物の柔軟なる間に輻輳式の工具を以て其の厚薄飯の接合部分に凹溝條を施し以て締着せしむる事を特徴とする厚薄混成の鐵器を珪瑯燒成する方法

アルミニウム合金合せ板 (12年特許公告第3159號公告12-8-13年大阪市住友金屬工業株式會社) 内部成分の被覆材に對する擴散を防止し以て完全なる耐蝕性合せ板を得んとする目的を以てアルミニウム又は其の合金に3%以下のクロミウムを添加したる被覆材を有する事を特徴とする銅を含むアルミニウム合金合せ板

金屬熔解坩堝の製造法 (12年特許公告第3161號公告12-8-13下關市内田真郷外一名) スラッグの爲に侵蝕せらるゝ事なく急冷による龜裂を防止せられ耐久性に富み且つ熔解金屬の品質性能に惡影響を及ぼす事なき金屬熔解坩堝を容易低廉に得んとする目的を以てマグネシヤと黒鉛より成る混合物に靱穀を加へ且つ消石灰及水硝子を添加して成型し後燒成する事を特徴とする金屬熔解坩堝の製造法

不燒高礬土質耐火煉瓦の製造法 (12年特許公告第3162號公告12-8-13東京市永井彰一郎) 一般耐火煉瓦製造の普通法に於けるが如き燒成の工程を省略し常温に於ても充分優秀なる硬化強度を呈し而かも高温に於て中性にして耐火度高き不燒成高礬土質耐火煉瓦を經濟的に製造せんとする目的を以てディアスポル質シリマナイト質の如く礬土分60乃至70%以上を含む高礬土質原料を約1,500°C以上の高温に煨燒し之を急冷して粉碎し易くなすと共に完全に膨脹及收縮を起さしめ高温に安定となせるものを適當の粒度となしたるものを第一要素とし別にシリマナイト質のシアナイト又は高礬土質粘土と石灰石との配合物を約1,200乃至1,300°Cの比較的低温度にて熔融しゲーニットグロシユラリット等に類似する成分を有し潜在水便性を有する礬土珪酸石灰鹽の均等融成物を粉碎して適當の粉末度となしたるものを第二要素となし更に此第二要素の潜在水便性及可塑性を誘發すべき生石灰消石灰若石灰煨燒物の如き石灰含有物の少量を第三要素となし此等第一第二及第

三要素を適當なる配合割合に混合し少量の水を加へ乾式法に依り強壓の下に任意形状の耐火煉瓦を成形し何等焼成の工程を経る事なく硬化せしむる事の特徴とする不焼高礬土質耐火煉瓦の製造法

摩擦作用を受くる機械部分に減摩合金を直接鑄着する装置 (12年特許公告第3198號公告12-8-16伊太利國エジデオジニオリ外一名) 簡單にして且有效確實に摩擦作用を受くべき機械部分に減摩合金を鑄着せしむる装置を得んとする目的を以て裏装せらるべき部材か内部に於て造型せられ次で減摩金屬裏装か鑄込まる鑄造機框を鑿め取付けられたる一個乃至數個のカプセルに依りて供給せらるる冷却瓦斯管に依りて該装置の附近に誘導せしむる吹入機と連結せしめ且何等の障碍を起す事なく冷却瓦斯の膨脹を許容するため數個の排氣用通道を適當に配置せしめたる事の特徴とする摩擦作用に耐ゆる可き軸承連桿環等の如き機械部分に減摩合金を鑄着する装置

珪瑯燒附方法 (12年特許公告第3207號公告12-8-16東京市小島正輝) 爐を使用する事なくして簡單に燒成し又は爐によりて完全に加工し難き部分に施工し又は不完全に燒成せられたる部分を簡單に修正し以て珪瑯加工を完全且容易ならなめ又は時間を節約し加工を経済的ならしめ更に從來爐を使用するために加工し得ざりし大なる器物をも容易に珪瑯を燒附け得る簡單なる珪瑯燒附方法を得んとする目的を以て素地の一方の面より局部的に加熱せられ他方の面に於ける珪瑯が從來の燒成爐を使用する事なくして素地の面に融着せしめらるることを特徴とする珪瑯燒附方法

含チタン鐵鑄精鍊爐の改良 (12年特許公告第3240號公告2-8-20仙臺市金屬材料研究所長) 精鍊によりて生ずる高チタン鑄滓に侵さるる事少なく且つ鑄滓中の含チタン量を低下せしむる事なく鑄滓を有用副産物となし得る精鍊爐を得る目的を以て含チタン鐵鑄又は之れより製造したる海綿鐵を熔解精鍊する精鍊爐に於てチタン酸カルシウムを主體とする耐火材料を裏張りせる事の特徴とする含チタン鐵鑄精鍊爐

含チタン鐵鑄又は之より得たる海綿鐵の處理方法 (12年特許公告第3241號公告12-8-20仙臺市金屬材料研究所長) 鑄滓の熔融點を低下し流動性を大ならなむることに依り採業を容易ならしめ同時に酸化チタン含有量高き鑄滓を得んとする目的を以て含チタン鐵鑄又は之より得たる海綿鐵を溶解精鍊するに當りその内に含まるる酸化チタン100毎に酸化カルシウム40-25酸化マンガン55-35を主裝入物として加へ生ずる鑄滓の組成をしてチタナイトとピロフアナイトの共融混合物を主成分とする如く他の造滓成分を調節裝入し以て鑄滓中の酸化チタン量を35%以上酸化マンガン量を15以上たらしむることを特徴とする含チタン鐵鑄又は之より得たる海綿鐵の處理方法

大型多能材料試験機 (12年特許公告第3256號公告12-8-25東京市明石和衛) 簡單なる装置によりて抗張力抗壓力等を試験すべき大型の多能材料試験機を得る目的を以て懸垂せる荷重測定油筒の左側面の一部を懸垂せる負荷油筒と共に左右行する杵の右側面に接離自在ならしめ該左側面の他の一部を杵の透孔内に緩嵌して左固定盤に接觸自在ならしめ荷重測定油筒のラムを中部固定盤の左側面に接解せしめ其の右端の一部を中部固定盤の透孔内に緩嵌して之に負荷油筒の左側面を接離自在ならしめ荷重測定油筒内を壓力計に連通せしめたる事の特徴とする大型多能材料試験機

ピトー管式速度計の等齊目盛指示装置 (12年許公告第3257號公告12-8-25東京市航空研究所長) ピトー管式速度計によるも流體の速度を等齊目盛にて指示し得せしめ測定の正確を期せる目的を以てピトー管式速度計の動壓を受けて變位する空盒の變位をば相關着せる二連結杆の一端を軸に取付け他端を空盒に關着し而も空盒の變位に比して連結杆の長さを著しく大ならしめたるリンクにより速度に比例せる變位に變せしむることを特徴とするピトー管式速度計の等齊目盛指示装置

電弧熔接用被覆電極棒 (12年特許公告第3358號公告12-8-30陸軍大臣) 電弧の安定を容易にし電弧作用に於ける酸化窒化の害を除き且熔着金屬上に鑄滓を以て蔽ひ急冷を防ぐと共に被覆劑中より適量の炭素マンガ及ワナヂウムの元素を補ひ以て常溫に於ける引張強さ伸及衝擊抗力の大なるは勿論低溫度に於ても衝擊抗力の大なるワナヂウム鋼熔着金屬を得る目的を以て軟鋼芯線の周圍に珪砂7%フェロマンガ 10%炭酸カルシウム 57%黒鉛 4%螢石 5%フェロワナヂウム 5%酸化チタン 12%の混合粉末を珪酸ソーダの水溶液を以て糊狀に煉りたるものを適當の厚さに塗布したる後纖維質物〔木綿又は紙〕を纏捲して成る電弧熔接用被覆電極棒

特許抜萃

番 號	名 稱	特許權者	鐵と鋼
121080	煉炭用着火材製造法	阿蒜庸之助外一名	なし
121088	電氣爐電極自動調節裝置	株式會社芝浦製作所	第23年4號
121147	耐熱合金	堀内清	なし
121164	低溫乾餾裝置	株式會社大和式乾餾機製作所	なし
121165	硫黃製煉裝置	村本富徳	なし
121170	材料裝入裝置	株式會社住友電線製造所	なし
121178	輕金屬特にアルミニウム マグネシウム及夫等の合金類の處理法	コムパニ ジエネラル デレクトロメタリニルヂ	第22年4號
121205	稀薄合銅溶液より銅の恢收方法	三菱鑛業株式會社	第23年5號